



▲HPはこちら

会派視察（福井県敦賀市）（4/23）▶

延伸された北陸新幹線を利用して敦賀市まで足を運びました。敦賀市役所では産業振興策について、また美浜原子力緊急事態支援センターでは緊急事態支援の概要について、視察研修を行いました。

今回の視察で知り得た情報は、さっそく6月の議会質問において反映しました。



◀ 地域後援会総会&村政報告会（5/25）

年に一度の総会および村政報告会を、東海村産業情報プラザ（アイヴィル）で開催しました。

集まっていたいただいた多くの方々に、先の東海村議選の振り返りや直近の活動状況などについて報告を行いました。たくさんのご質問や貴重なご意見をいただきました。



平澤 大助さん（船場在住）

東海村に住み始めて丸13年が経ちました。夫婦2人で始まった生活も、長男と次男が生まれて今では4人で楽しく平穏な日々です。

豊かな自然のおかげで季節の変わり目をしっかり感じながらの13年は、子どもの成長が年々ゆったりとした変化を我が家に与えてくれています。いずれ子どもたちも自立して夫婦2人の生活に戻るのでしょうが、未永く東海村で過ごしたいと思っています。

良いまちづくりに尽力いただいている「おち議員」を応援しています。



編集後記

数年前から手元がかなり見えづらくなってきた。夕方以降の時間帯はより深刻で、携帯電話のLINEのやりとりでは誤字脱字が多い。家族とのやり取りならまだしも、仕事への影響も出てきた。

こうした状況が自分自身のストレスや疲れにも繋がっていたことから、「年相応かな」と割り切って、先日ネットショッピングで老眼鏡を購入したのだが、使ってみると実に快適である。

東京眼鏡販売店協同組合が開催しているメガネ川柳コンテストというものがあり、全859句の中から最優秀作品に選ばれた川柳が、とても頷ける一句である。

「メガネ替え 眉間のシワも ミスも減り」

(す)

わかば通信

東海村議会議員

おち辰哉

議会報告



第66号

令和6年7月発行

発行人：おち辰哉後援会

日立市幸町2-13-6
(日立製作所労働組合 日立国分支部内)
TEL 0294(26)0183
FAX 0294(26)0186

日頃のご支援に感謝申し上げます。

先の6月定例会では、実に2年ぶりとなる議会質問に挑みました。

これまで温めてきた村政運営に関する住民の皆さまのご質問やご意見を引っ提げ、質問席に立って行政執行部に対して質問をぶつける緊張感を久々に味わうことができました。

今後も、議会質問を含むさまざまな場面において、住民の皆さまの代表として積極的に政策提言していきます。



越智辰哉



ご当地WAONカードを発行



東海村・イオン株式会社
包括連携協定 締結式

東海村とイオン株式会社は、令和6年3月20日に包括連携協定を締結しました。

この協定は、東海村とイオン株式会社相互に緊密な連携を図ることにより、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、一層の地域の活性化および村民サービスの向上を図ることを目的とするものです。

この協定に基づく主な取り組みの一環として、東海村のご当地WAONカードを発行することが決定。ご当地WAONカードは、利用金額の一部(0.1%)が自治体に寄付される仕組みとなっており、東海村では「子ども・若者を応援するプロジェクト」に活用する予定です。

東海村ご当地WAONカードは、7月28日に東海駅東大通りを会場に開催される「第46回東海まつり」での販売を皮切りに、店頭にて1枚300円(税込)でお買い求めいただけます。



▲イモゾーとコラボしたWAONカード

学童クラブの一時利用における利用料金を条例化



舟石川学童クラブ(分室)の園庭

令和6年6月定例会を6月1日から20日までの会期で開きました。
今議会では、学童クラブの夏季休暇など一時利用における利用料金の条例制定など全15件の議案について慎重審議し、すべて原案のとおり可決しました。

旧舟石川幼稚園は、令和6年3月末で閉園となりましたが、その後改修を行い4月1日から舟石川学童クラブ(分室)として、放課後の子どもたちの受け入れを行っています。

分室では、全ての学区の児童を対象として今年度の夏季休暇期間の受け入れを行うことから、学童クラブの一時利用を含めた利用料金を条例で定めることとしました。

| 利用区分 | 利用料金 |
|------|------------------|
| 定額利用 | 8月以外 月額5,000円 |
| | 8月 〃 10,000円 |
| 一時利用 | 夏休み 総額12,500円 |
| | 冬休み 〃 2,500円 |
| | 春休み(3月) 〃 2,000円 |
| | 春休み(4月) 〃 1,500円 |



被告に対して損害賠償を提起

昨年12月、東海村役場の庁舎正面玄関に乗用車が突っ込むという前代未聞の事件が発生しました。

その後、去る5月21日に臨時議会を開催し、殺人未遂や建造物損壊などの罪で起訴されている被告に対して、東海村が損害賠償を求めて提起するための議案を全会一致で可決しました。

賠償額は正面玄関の自動ドアや総合案内の机などの修繕費に加え、慰謝料や弁護士費用など合わせて約1,200万円であり、議決後に速やかに水戸地裁に提訴しました。



越智議員の一般質問

一般質問とは・・・

住民を代表し、村政全般について村長など執行機関の考えや方針を問い質すものです。



▲録画中継はこちらから

防犯対策に資する住民支援を行うべき

→ 支援策の具現化について検討を進める。

Q. 県内の住宅侵入窃盗や自動車盗難事件の犯罪率はいずれも全国ワースト1位、さらにニセ電話詐欺についても250件近くの認知件数となっており、犯罪に対する住民不安が高まっている。

防犯カメラや迷惑電話対策の機器など、防犯対策に資する住民支援策を講じるべきでは。

A. 警察から提供される防犯情報などの情報発信や地域住民の見守り活動に対する支援などのソフト面からの対策に加え、公共空間における街頭防犯カメラ設置などにより、犯罪抑止にかかる施策を総合的に展開していきたい。

Q. 日立市ではすでに助成制度があり、昨年度の利用実績としてはカメラ付きインターホンの設置補助が115件であった。また、訪問巡回している警察からは、一定の効果はあるものの、それだけでは限界があるとの指摘もある。

改めて、防犯対策に資する住民支援策を講じるべきではないか。

A. 昨今の犯罪発生の状況を踏まえると、専門的知見を備えた警察とも連携し、支援策の具現化について検討を進めていきたい。



給食無償化をやらない明確な答えは

→ 自校方式による給食を今後も継続したい

Q. 東海村で学校給食の無償化を導入する際には、行政コストの観点から現在の自校方式ではなく、センター方式への移行も視野に入れるべきだと考える。現時点での給食の実施方式について村の考えは。

A. 「自校方式」による手作りで心を込めた温かな給食の提供が本村の特色であり、可能な限り今後も「自校方式」を維持できるよう努めたい。

Q. 「自校方式」が本村の特色であり今後も維持するというならば、東海村は他自治体よりも「自校方式」によって質の高い給食を提供しているという事実をもっと前面に出すべきである。

「自校方式」を今後も維持していく場合の村の財政負担や保護者負担について、村長はどう考えるのか。

A. 「自校方式」を維持していく場合、施設1か所の運営で済む「センター方式」と比較して、学校給食に係る人件費・物件費などは、それ相応の負担となる。しかし、それにより質の高い学校給食を提供できていることから、村としては必要な経費をかけ「自校方式」を継続していきたい。

よって、東海村の特色である「自校方式」による学校給食を継続していくためにも、保護者の皆さまにも一定のご負担をお願いしたいと考えており、私としては現時点において「学校給食の無償化」は考えていない。



第46回東海まつり

2024 7月28日 イベント 東海駅東大通り

8月11日 花火大会 阿漕ヶ浦公園

